大島中 HP 二次元コード

今日が楽しく
明日が待ち遠しい学校を目指して

【学校教育目標】
思いやりと実践力を持つ
人間性豊かな生徒の育成（自立貢献）

平戸市立大島中学校
令和7年6月25日（水）
第11号
文責 校長 井元教介

大島の歴史探訪（1年） 実施！

6月23日（月）・24日（火）の両日、平戸市役所の前田様を講師にお招きし、1年生が大島村の歴史探訪に出かけました。23日（月）はふるさと資料館を見学した後、神浦の町並み、遣明船や豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に船団が立ち寄った海岸近くで真水が出る珍しい朝鮮井戸、政務役の墓についての説明を聴きました。24日（火）は大根坂の史跡をめぐり、江戸時代に作られたため池などについても話を聴きました。

ご存じの方もおられると思いますが、歴史探訪で訪問させていただいた見学地の一部について少しだけ紹介させていただきます。

源頼朝が鎌倉幕府を1192年（諸説あり）に開きますが、その後1224年、大島氏の祖先とされている大江氏が大島を含む数か所の地頭職となり、その後大島氏は400余年間にわたり、武士団松浦党の有力者として、大陸に渡る船団の警護、異国船警戒、京都警備の京都大番役、室町時代の遣明船の滞在受け入れ（朝鮮井戸）、遭難船の救助など、困難な任務にあたり、貿易で経済力を蓄え、戦国時代には各地での戦に参戦したようです。豊臣秀吉の死後、豊臣政権内部の政争に端を発した関ヶ原の戦い（1600年）後の1601年、関東から壱岐に西下していた木曽仙三郎義利を平戸松浦氏が大島政務役として招請し、その後、井元弥七左衛門義利と改名しています。この木曽仙三郎義利は源氏・平氏の戦いである源平合戦で旭将軍と称された木曽義仲の子孫であり、父義昌の正室（妻）は武田信玄の娘（真竜院）だとする説がありますが、諸説あるようです。1661年、大島三代政務役井元弥七左衛門義信は、松浦家第29代鎮信公の仰せ付けにより、神浦を拠点とした捕鯨業の準備を始め、大規模な経営組織である鯨組として成功を治めました（政務役の墓）。1726年ごろ五代定治の代で廃業しますが、約60年以上にわたり平戸藩の経済発展に貢献しました。神浦の町並みは現在も藩政時代の地割がほぼ残され、当時の町並みを今も想像できる貴重な文化財となっています。（「大島村郷土史」・「2008年7月広報ひらど」参照）

地域の皆様への学校評価アンケートのお願い

学校は学校教育法施行規則の定めにより、生徒、保護者、教職員、地域住民、その他の関係者による評価を義務付けられております。本校の現状としましては、多くの地域の皆様に本校教育にご協力いただいている観点から、今年度、地域の皆様全世帯を対象にした学校評価アンケートを実施したいと考えております。学校評価アンケート用紙を7月1日（火）以降に全世帯に配付していただきますので、ご協力いただける方は、可能な範囲で結構ですのでお答えいただき、大島支所または公民館の回収ボックスへご投函いただければ幸いです。なお、アンケートに添付された二次元コードでのご回答であれば大変助かります。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

7月行事予定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	火	少年の日	19	土	夏季休業日開始・食育の日
2	水	職場職域グラウンドゴルフ大会（18:30～）	20	日	家庭の日
8	火	音楽部発表会（18:40～音楽室）	21	月・祝	海の日
11	金	デートDV講習会 （全学年14時40分～）	24	木	カヌー教室
14	月	朝集会（生徒会）	26	土	県中総体陸上大会（～27日（日）） トランス・コスモススタジアム長崎（諫早市）
15	火	第1回学校保健委員会 （19:00～多目的室）	30	水	ふるさとプロジェクト会議（田平町）
18	金	終業式・県中総体激励式			